

中小企業景況調査報告書

令和3年10～12月期実績
令和4年1～3月期見通し






鹿児島県商工会連合会

(令和3年12月発行)

この調査は、商工会地域の産業状況等地域の経済動向について、四半期毎に変化の実態等諸状況を迅速・的確に収集して、全国商工会連合会と連携し、全国一斉に実施しているものです。

























この報告書の中で、用いられているD・I指数とは、ディフュージョン・インデックスの略で、【増加・上昇・好転】の割合から【減少・低下・悪化】の割合を差し引いた値で企業経営者の景気動向を表す指数として利用されています。

〈お天気マークの説明〉

 特に好調 +30.0 以上	 好調 +29.9～ +10.0	 まあまあ +9.9～ ▲9.9	 不振 ▲10.0～ ▲29.9	 極めて不振 ▲30.0 以上
---	---	---	---	--

- 調査対象期間 令和3年10～12月期を対象とし、調査時点は令和3年11月15日とした。
令和4年1～3月期は予測値となる。
- 調査方法 商工会の経営指導員による訪問及び面接調査による。
- 調査対象商工会 かごしま市・南九州市・薩摩川内市・さつま町・始良市・湧水町・霧島市
志布志市・大崎町・かのや市・肝付町・西之表市・あまみ・徳之島町
- 回答企業 対象企業 208業
製造業：41企業 建設業：30企業 小売業：60企業 サービス業：77企業

県内産業別業況DI

	製造業	建設業	小売業	サービス業
2年10月～12月期	 ▲46.4	 ▲25.0	 ▲51.7	 ▲58.0
3年1月～3月期	 ▲46.4	 3.5	 ▲44.9	 ▲59.7
3年4月～6月期	 ▲20.9	 ▲10.4	 ▲28.3	 ▲37.7
3年7月～9月期	 ▲18.9	 ▲13.3	 ▲38.3	 ▲39.0
3年10月～12月期	 ▲14.7	 ▲6.7	 ▲30.0	 ▲26.6
来期見通し(1～3月期)	 ▲2.6	 ▲25.0	 ▲21.7	 ▲2.6

総合(業況)

前年同期(令和2年10月～12月期)と比較した今期(令和3年10月～12月期)の業況は、製造業▲14.7(前年同期比31.7ポイント改善)、建設業▲6.7(前年同期比18.3ポイント改善)、小売業▲30.0(前年同期比21.7ポイント改善)、サービス業▲26.6(前年同期比31.4ポイント改善)となった。今期については、9月から新型コロナウイルス感染者が減少し11月に入り感染者なしの日も続き、少しずつコロナ禍前に戻りつつあると感じられる。しかし、今秋からのたばこ、小麦粉、食用油の値上げにより全業種、「原材料等の仕入単価上昇」が大きな経営上の問題点となった。

また前期(令和3年7月～9月期)と比較すると、製造業4.2ポイント・建設業6.6ポイント・小売業8.3ポイント・サービス業12.4ポイントすべての業種で改善となった。

なお、来期(令和4年1月～3月期)の見通し(DI)は、今期と比較すると、建設業は18.3ポイント悪化となる見通しであるものの、製造業12.1ポイント・小売業8.3ポイント・サービス業24.0ポイント改善となる見通しである。しかし原油の高騰により12月から食料品の値上げが続き、電気ガスも値上げとなる予想であり、消費者の財布のひもも固くなり中小・小規模事業者にとっても、まだまだ厳しい状況が続くと思われる。

業種別景気動向

【製造業】 有効回答数 41 企業

調査対象企業内訳：食料品(21)，飲料・飼料・たばこ(3)，一般機械器具(3)，家具・装備品(2)，木材・木製品(2)，プラスチック製品(1)，印刷・同関連(3)，金属製品(2) 窯業・土石製品(1)，その他(3)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
2年10月～12月期		▲60.9		▲47.5		▲26.8		▲46.4
3年1月～3月期		▲51.1		▲40.0		▲32.5		▲46.4
3年4月～6月期		▲20.9		▲27.9		▲26.2		▲20.9
3年7月～9月期		▲17.5		▲26.3		▲22.5		▲18.9
3年10月～12月期		▲17.5		▲30.0		▲22.0		▲14.7
来期見通し(1～3月期)		▲2.6		▲12.8		▲15.4		▲2.6

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・原材料仕入価格の高騰と従業員不足により工場稼働率が上がらず、生産が目標に達していない。
(肉加工品製造業)
- ・作る分は売れる為、外出する人は増えているように感じる。今後、売れ行きを見て出す量を増やし、売上に増にしていきたい。
(生菓子製造業)
- ・秋に入り新酒の販売を開始したが例年の半分程度の注文が入らない。飲食店も再開される中、受注の戻りが期待されたが思うように消費が拡大されない状況にある。
(蒸留酒・混成酒製造業)

経営上の問題点

第1位 需要の停滞	25.7%	(前期比 -6.6)
第2位 原材料価格の上昇	22.9%	(前期比 +3.5)
第3位 生産設備の不足・老朽化	11.4%	(前期比 -1.5)

【建設業】 有効回答数 30 企業

調査対象企業内訳：総合工事業(23)，職別工事業(5)，設備工事業(2)

	完成工事額		採算		資金繰り		業況	
2年10月～12月期		▲18.5		▲25.0		7.4		▲25.0
3年1月～3月期		3.5		3.5		6.9		3.5
3年4月～6月期		10.0		▲3.4		3.4		▲10.4
3年7月～9月期		▲30.0		▲20.0		▲16.7		▲13.3
3年10月～12月期		▲16.6		▲20.0		▲10.0		▲6.7
来期見通し(1～3月期)		▲23.4		▲26.7		▲13.3		▲25.0

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・自社の業況に大きな状況変動は見られないが、ここ最近の材料価格の大幅な上昇により、今後自社においても悪影響が出ないように、原材料価格を把握し損失が出ないように努めなければならない。(一般土木工事業)
- ・木材等の仕入単価が3倍ほど上昇してきている。近年では新築等の受注が増加傾向であったが、仕入単価の上昇により受注が危ぶまれるのではないかと懸念している。
(木造建築工事業)
- ・業界は国土強靱化の5カ年加速化対策で次年度以降も一定の事業量が見込まれる。ただICT活用工事の普及に伴い技術者やICT建機を活用できる技能者の人材が不足している。
(一般土木建築工事業)

経営上の問題点

第1位 材料価格の上昇	38.1%	(前期比 +24.5)
第2位 従業員の確保難	19.0%	(前期比 -8.3)
第3位 民間需要の停滞	14.3%	(前期比 +5.2)

【小売業】 有効回答数 60 企業

調査対象企業内訳：飲食料品(23)，各種商品(6)，織物・衣服・身の回り品(7)，家具・建具(5)
その他(19)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
2年10月～12月期		▲57.6		▲44.1		▲31.0		▲51.7
3年1月～3月期		▲57.6		▲48.3		▲41.6		▲44.9
3年4月～6月期		▲25.0		▲25.0		▲21.6		▲28.3
3年7月～9月期		▲44.0		▲38.4		▲22.8		▲38.3
3年10月～12月期		▲33.4		▲30.5		▲20.3		▲30.0
来期見通し(1～3月期)		▲23.4		▲25.8		▲27.1		▲21.7

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・タバコを始めカップ麺や乳製品，パンなどの仕入額が上がっている。野菜の高騰については落ちついてきているように感じる。お客さんはあまり戻っていない。(各種食料品小売業)
- ・町の応援商品券や商工会のプレミアム商品券が追い風となり売上は維持できている。昨年が良かったので、下がると思っていたが維持できているのは商品券のおかげ。(織物,衣類小売業)
- ・コロナの感染者数が減少傾向となると大型施設等へ出かける方が多くなるため，他地域への流出が懸念される。(化粧品小売業)

経営上の問題点

第1位 需要の停滞	32.1%	(前期比 -3.1)
第2位 仕入単価の上昇	17.0%	(前期比 +11.4)
第3位 購買力の他地域への流出	11.3%	(前期比 +0.2)
第3位 大型店等の進出による競争の激化	11.3%	(前期比 -1.7)

【サービス業】 有効回答数 77 企業

調査対象企業内訳：洗濯・理美容業(21)，飲食店(22)，自動車整備業(12)，宿泊業(7)
運送業(2)，その他(13)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
2年10月～12月期		▲69.3		▲55.1		▲43.6		▲58.0
3年1月～3月期		▲71.9		▲65.5		▲49.9		▲59.7
3年4月～6月期		▲31.6		▲33.8		▲19.8		▲37.7
3年7月～9月期		▲30.2		▲39.0		▲26.3		▲39.0
3年10月～12月期		▲22.1		▲35.1		▲22.1		▲26.6
来期見通し(1～3月期)		0.0		▲11.9		▲3.9		▲2.6

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・小麦，油の値上がりによる仕入単価上昇がある。(食堂・レストラン)
- ・イベント等のハッピーのクリーニングもあったので，少しずつ経済が回復していくのでは感じた。(クリーニング業)
- ・コロナの影響は少しずつ小さくなっているように感じる。観光客や忘年会で今後良くなるかもしれない。中高生の大会関係の仕事も増えてきた。(旅館・ホテル業)

経営上の問題点

第1位 需要の停滞	34.4%	(前期比 +4.1)
第2位 材料等仕入単価の上昇	12.5%	(前期比 +8.0)
第2位 新規参入業者の増加	12.5%	(前期比 +3.4)
第2位 利用者ニーズの変化	12.5%	(前期比 +0.4)

全産業【鹿児島県】

2021年10月期～12月期

	今期（前年同期比）					来期（対前年同期比来期見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	207	19.3	37.7	43.0	-23.7	205	20.0	49.3	30.7	-10.7
売上（加工）単価・客単価	176	9.1	64.8	26.1	-17.0	177	8.5	69.5	22.0	-13.6
売上（加工）数量	40	25.0	35.0	40.0	-15.0	40	22.5	52.5	25.0	-2.5
客数	60	13.3	40.0	46.7	-33.3	60	10.0	55.0	35.0	-25.0
利用客数	76	7.9	47.4	44.7	-36.8	76	19.7	52.6	27.6	-7.9
資金繰り	207	3.9	72.5	23.7	-19.8	205	6.3	73.2	20.5	-14.1
輸出額	16	0.0	93.8	6.3	-6.3	17	5.9	94.1	0.0	5.9
受注（新規契約工事）額	30	16.7	46.7	36.7	-20.0	30	6.7	53.3	40.0	-33.3
原材料・商品等仕入れ単価	205	42.9	52.2	4.9	38.0	200	30.0	65.5	4.5	25.5
原材料在庫数量	41	4.9	82.9	12.2	-7.3	40	2.5	87.5	10.0	-7.5
商品仕入数量	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
商品仕入額	60	21.7	43.3	35.0	-13.3	60	16.7	56.7	26.7	-10.0
商品・商品在庫数量	101	7.9	72.3	19.8	-11.9	100	7.0	78.0	15.0	-8.0
採算（経常利益）	206	5.3	58.7	35.9	-30.6	203	7.4	67.0	25.6	-18.2
従業員（含臨時・パート）	186	3.2	89.2	7.5	-4.3	185	1.1	82.2	4.9	-3.8
外部人材（請負・派遣）	135	3.7	91.1	5.2	-1.5	137	1.5	92.0	6.6	-5.1
設備操業率	41	9.8	75.6	14.6	-4.9	40	7.5	87.5	5.0	2.5
引合い	70	7.1	75.7	17.1	-10.0					0.0
受注・契約残	67	6.0	88.1	6.0	0.0					0.0
業況（自社）	206	8.7	60.2	31.1	-22.3	202	11.4	65.8	22.8	-11.4

	今期（前期比）					来期（対当期比見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	203	26.6	37.9	35.5	-8.9					
売上（加工）単価・客単価	173	9.8	65.9	24.3	-14.5					
売上（加工）数量	38	31.6	39.5	28.9	2.6					
客数	60	15.0	45.0	40.0	-25.0					
利用客数	73	19.2	46.6	34.2	-15.1					
資金繰り	201	5.5	72.1	22.4	-16.9					
業況（自社）	190	12.6	60.5	26.8	-14.2	197	14.2	64.0	21.8	-7.6
受取手形期間	39	2.6	97.4	0.0	2.6	39	0.0	100.0	0.0	0.0
長期資金借入難度	176	2.3	87.5	10.2	-8.0	173	1.7	89.6	8.7	-6.9
短期資金借入難度（含手形割引）	159	1.3	91.2	7.5	-6.3	156	1.3	91.7	7.1	-5.8
借入金利	178	1.7	94.4	3.9	-2.2	174	2.3	95.4	2.3	0.0

	今期の水準				
	企業数	↗	→	↘	D I
業況（自社）	208	6.3	57.2	36.5	-30.3
生産に対する原材料在庫	41	0.0	90.2	9.8	-9.8
売上に対する製品在庫	100	10.0	84.0	6.0	4.0
採算（経常利益）	207	14.0	62.8	23.2	-9.2
引き合い	71	4.2	80.3	15.5	-11.3
生産設備	41	0.0	80.5	19.5	-19.5
従業員（含臨時・パート）	197	0.5	87.8	11.7	-11.2